

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年1月23日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2025年1月23日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内で複数の障害福祉サービスを運営しており、幼児期から高校・高等部卒業後の就労移行、その後の地域生活まで、柔軟な支援体制が整備されている。特に、併設の認定こども園卒園児への対応については、長期的な視点で支援ができる体制にある。	小学生の児童については、児童指導員の見守りの元、認定こども園の低年齢児の遊び相手になったり、高校生の場合は、就労を意識した活動内容にするなど、児童の発達段階と年齢に応じて、活動内容を工夫している。	幼児期から就労とその後の生活まで、長期的な視野で支援することを前提として、法人内他サービス事業所での研修や、専門的な外部研修の受講を計画的に進め、サービスの質の向上と充実を図る。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	併設事業所を含む、多数の職員が関わるため、支援方針や具体的な支援方法の統一が必要である。	サービス提供時間が長時間であるために、職員の勤務時間帯が同一ではないことから、日々のミーティングに出勤している全職員が参加できない。その結果、日々変化する対象児童の心身の状態の変化に応じた支援方針や具体的な支援方法の細かいすり合わせが不十分である。	・ミーティングに際しては、効果的に共通理解を図ることができるよう、的を絞って実施する。 ・月1回の全体の職員会議において、その時点での支援方針と具体的な支援の方法を周知する。 ・記録のICT化により、対象児童の状態や支援内容の時系列での変化を見える化する。
2	保育室以外に細かく区切られたスペースが少なく、バリアフリー設計でない箇所が多い。	事業所の建物が、築年数20年超の旧保育所である。	・建物の内部改装を予定しているため、それに併せて、バリアフリー化が必要な箇所を改修する。 ・バニックになった時など、利用児童が自らの意思で一人になりたいと思った時の避難場所となり得るスペースで、安全が確保され、且つ、職員が見守りできる場所を作りたいと考え、その方法を模索中である。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）

公表日 2025/2/26

利用児童数 4

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	1		面談の機会等を通じて、保護者の方に見て頂くことで、普段の活動内容や環境を知って頂く機会とします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2	1	0	0		契約時に職員配置について説明し、ご理解いただいた上で、安心してご利用いただけるようにいたします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	1		同上
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	1	0	1		職員の専門的な研修の受講を進め、知識と技術の向上を図り、支援内容に反映できるようにいたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	1	0	0		支援プログラムの概要をご説明した上で、支援計画のご説明をするようにいたします。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	1	0	0		個別支援計画作成の際は、ご家族及びお子様の意向を伺い、計画の内容に反映いたします。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	1		放課後等デイサービスガイドラインの概要について、計画の内容と併せて説明することで、共通理解を図ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	1		面談や送迎時に、支援内容を共有いたします。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	2	苦手を克服できるプログラムがあれば嬉しいです。	職員の専門的な研修の受講を進め、知識と技術の向上を図り、支援内容に反映できるようにいたします。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1	1	0		城南まつりなどのイベントを通して、地域の子どもたちと交流する機会を継続して設けます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	1	0	書面を読んで判をしますが、それで良いと思います。	支援内容について、丁寧に説明し、共通理解のもと、サービスをご利用いただけるようにいたします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	2	0		家族支援プログラムについて、職員の知識の向上を図り、保護者の皆様への支援に反映できるよう努めます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1	0	0		定期的なモニタリングの機会などを活用し、気軽に相談いただけるような体制をつくります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	2	0		保護者会を設置する予定はございませんが、行事やイベントを通じて、自然に交流の機会が生まれるようにいたします。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3	0	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	1	0	0		双方のご連絡がスムーズにできるよう、ICT化を進めるなど、対策を講じます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	1	0	1		スマートフォン等で出欠連絡や活動・行事のご案内をご確認いただけるよう、ICT化を進めます。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	1	0	0		契約時、秘密保持や個人情報の取扱いについて丁寧に説明するとともに、	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	0		安心してご利用いただけるよう、契約時に安全計画等について丁寧に説明いたします。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	0	自分の子の参加は難しいですが、園として実施している様子が伺えます。	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	1	0	0		安心してご利用いただけるよう、契約時に安全計画等について丁寧に説明いたします。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0	0	0		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	3	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	3	0	0	0	最近は「飽きた」と言っています。やはり、お友達がいらないのもあるかと思われます。仕方ないのですが。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	2	1	0	0		今回いただいた評価をもとに、改善いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	城南児童発達支援センター（放課後等デイサービス）		公表日 2025年2月26日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	専用の指導訓練室や併設の子育て支援センターを使用している。	事務室で学校の課題に取り組んでいることがあるなど、個別のスペースが足りないと感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	少人数に対して適正な職員数が配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3		わかりやすい環境とは言えない。バリアフリー化が出来ていない箇所がある。内装改修を予定している為、それと併せて対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	消毒・清掃を継続的に実施している。	清潔ではあるが、活動に合わせた空間とは言えない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		指導訓練室や併設の子育て支援センターが空いている場合は、個別に使用できるが、そうとは限らない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	併設のこども園含む全職員が関わりを持って過ごしている。	全職員が参画できるよう、ミーティングの方法の工夫や、意識の醸成を図るための事業所内研修を実施する。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者等の意向を周知し、改善に向けて検討する機会を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	常時、職員の意見等を把握し、検討する機会を設けている。日々のミーティングの他、月1回の全体会議にて情報共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		今年度は実施しなかったが、今後、実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	園内研修及び外部研修により、支援の質を高めるよう努めている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	法人のホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	相談支援事業所の計画を元に、情報共有しながら、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	日々のミーティングと、月に一度の職員会議で共通理解を図っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員会議で共有されて、個人ファイルにて個人記録と併せて閲覧できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	基本的な項目に沿った、統一されたアセスメント様式を使用している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	項目に沿った児童発達支援計画と併せて、職員間で具体的な支援内容・方法がわかるよう、時系列のマニュアルを作成して、共有している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員間の話し合いにより、共通認識をもって統一した支援を実施している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	子どもの発達や様子に合わせて見直す機会を設けている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団でできることは集団活動に参加し、難しい場合は個別活動に切り替えるなど、子どもの様子に合わせ、柔軟に対応している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		内容が不十分であるため、的を絞って打合せができるよう、改善に努める。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	その日に気づいた事は、その日のうちに共有し、改善につなげている。	当日勤務の全ての職員が集まったの振り返りができていない。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個人記録への記入を徹底している。	
	23 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	年4回のモニタリングを実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	画一的にならないよう、子どもの様子に合わせて支援を行っている。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	その日の活動内容を選択できるように声掛けをしている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	日常的に子どもと接している児童発達支援管理責任者及び児童指導員が参画している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	保護者や学校と積極的に連絡をとり、支援を行っている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1		学校での様子について、送迎時にこちらから確認をしているが、相互の綿密な情報共有はできていない。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	併設の認定こども園卒園児については、元担任と情報共有をしたうえで、支援をしている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	実績がないため、今後、対応していく。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	専門機関が主催する研修会に参加している。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	併設の認定こども園の利用園児とは常に交流がある。イベント開催時には、地域の児童等も招き、交流の機会を設けている。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	七戸町の自立支援協議会に参加している。	
34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時の会話の他、必要に応じて相談の機会を設け、共通理解を図っている。		
35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		家族支援プログラムについての専門的な知識と技能を習得し、支援に反映できるよう、外部研修の受講を進める。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	連絡ノートの活用や面談の実施によって、随時意向を確認している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	初回計画の内容の説明と、変更がある場合は前回評価の今回変更点について、説明している。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	連絡ノートの活用や面談の実施によって、随時対応している。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会を開催する予定はなく、イベントや行事を通じて、保護者やきょうだい同士の自然な交流の機会を確保している。	
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談窓口を明確にしておき、その内容については、契約時に説明している。相談等については、電話や面談にて、随時対応している。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	「マチコミ」を活用して配信している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	事務室の鍵付き書庫にて管理している。職員は入社時の研修を実施している。	
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	伝わる方法を模索しながら、対応している。	
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	保護者等に限らず、併設の認定こども園の卒園児や中高生など、近隣住民も参加できるようにしている。		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	契約時、重要事項説明書に沿って説明している。また、訓練は年間の計画をたてて、実施している。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	同上	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に基本情報として把握している。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」や医師の指示書に基づき、対応している。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画の周知と、必要な研修と訓練を計画的に実施している。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時、重要事項説明書に沿って説明している。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	所定の書式で作成し、ミーティングにおいて共有している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	法人単位で虐待防止に関する指針を定め、定期的に事業所内外研修を実施している。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	契約時に保護者へ説明している。また、やむを得ず身体拘束を実施する場合の書式や同意書を整備している。		